



山陰いいもの探県隊
コンセプトブック

はじめに

JR西日本では、中期経営計画2017において「地域共生企業」となることを掲げ、地域と一体となった観光振興の推進を目指しています。

この取り組みのひとつとして、
山陰エリアを走る新たな寝台列車の導入を予定しています。

私たちは、それと並行して
「地域との共生」を推進するために、山陰エリアにおいて
主に、鳥取・島根両県の観光素材の開拓と
それに関する情報発信・事業推進を行なっていく所存であります。

新しい寝台列車自体も重要ですが、
「地域との共生」を中期経営計画で掲げているとおり、
地域と一緒に何ができるのか、どういった情報発信ができるのかが
とくに重要だと考えております。
観光素材の開拓と情報発信・業務推進にあたっては、
実際にその地域に足を運んで
当社の事業戦略としての「地域との共生」について説明をし、
対話を進めることで、山陰両県に関する
将来像を地域の方々と共有していきながら進めていくつもりであります。

そのための実行部隊として、
私たちは、「山陰いいもの探果隊」という組織を
立ち上げました。

山陰エリアの地域資源を再発見・再評価し、
当社の情報発信や流通ネットワークを活用して
地域の活性化を図っていきながら、ビジネスを推進していくのが
「山陰いいもの探果隊」です。

そこで蓄積された様々な観光資源や知見・ノウハウは、
新しい寝台列車へのコンテンツとしても
提供されていく予定です。

この冊子では、その「山陰いいもの探果隊」の概要について
ご説明をさせていただこうと思います。
何卒宜しくお願い致します。



山陰 いいもの 大国構想

この国の歴史は、地方から創られていきました。

この国の地方は、“豊かな”資源に溢れ、
人々は“豊かな”暮らしを送り続けてきました。
しかしながら、その地域の方々は、それが日常であり、当たり前のものと思え、
その価値にはなかなか気づけないものです。

一方、都市に生きる人々は、そのような元々この国にある
“豊かな”側面に実感をもって触れられる手だてを失ってしまったようです。

そこで、地域との共生を目指すJR西日本は
とある地域に、まず目を向けさせていただきました。

山陰地方は、古代より、この国の神話のふるさとであり、
近代以降も、都市と地方の画一化が進むなかで、
独自の文化を保ち続けてきた稀有な地域のひとつであります。

ある意味、この国の人々が抱く、日本の原風景といったものが
そのままのカタチで、残されている地域といえるかもしれません。

私たちは、そんな山陰地方がもつ独自の伝統・文化・風土などを
“いいもの”といった視点で
地元の人々と共に山陰地方内部から掘り起こしていきたいと思います。

山陰には、
これまで地元の人しか知らなかった“いいもの”がいっぱいある。
それを、ひとつひとつ集めて、丁寧に伝えていくことで
山陰が、国際的にみても“いいもの”が豊富に揃った
素晴らしい地域であることをわかってもらいたいと思います。

そう、山陰は、世界有数の“いいもの大国”であることを
誇りをもって宣言していきたいと思うのです。

山陰いいもの探果隊

結成宣言



山陰地方には、世界に誇れる“いいもの”が溢れている。

我々は、それを情熱をもって探索し、世の中に伝えていく。

そのために

ひとつ、自分が思う“いいもの”を自分の言葉で語ろう

ひとつ、“いいもの”は、ひとやコト、森羅万象すべてに存すると考えよう

ひとつ、新しいものだけではなく昔からあるものも発掘していこう

ということを遵守していきます。

おとなも子どももお年寄りも、みんなが、隊員になれる。

山陰のもってる“いいもの”を、知ってもらいたい、

という思いさえあれば。

■ 山陰いいもの探県隊キャプテン スタイリング・アイテム ■

・探県隊制帽（男性用）



・探県隊腕章



・探県隊クロ스타イ



・探県隊制帽（女性用）





まだまだ、
どんなものになるかは
わからない部分が多いですが
少しずつ仲間を見つけていき
みなさまと一緒に
「山陰 いいもの 探県隊」を
育てていきたいと思ひます。
どうぞ宜しくお願い致します。